

令和2年度施政方針

定例会の開会に当たり、議長より発言のお許しをいただきましたので、現在取り組んでおります主な市政について、御報告申し上げるとともに、令和2年度当初予算（案）をはじめ諸議案の審議をお願いするに先立ちまして、私の市政運営に関します基本的な考え方など所信を申し上げ、議員の皆様並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

はじめに、主な市政の進捗につきましては、災害対応において、より強固な危機管理体制を築くため、危機管理分野を専門に持つ日本大学の危機管理学部と連携協定に向け協議し、併せて、スポーツ振興や芸術・文化に関連した地域振興を図るため、同大学のスポーツ科学部及び芸術学部とも協議を進め、市と日本大学の三学部における包括連携に関する協定書を本年2月20日に締結する運びとなりました。

市といたしましては、本締結により、人的・知的資源の交流や物的資源の相互活用を図り、地域課題の解決や市の活性化に向けて連携、協力してまいります。

市民との対話につきましては、市内に在住・在勤・在学するおおむね10名以上のグループを対象に、各地域へ出向き、市民との対話を行う「まちかど市長室」を2月から実施してまいります。

また、効果ある施策の充実を図るため、各行政分野における専門的で幅広い知識や経験、民間経営のノウハウを有する「行政アドバイザー」を設置し、職員の育成や各種施策の推進を図ってまいります。

次に、私の令和2年度当初予算（案）をはじめとする市政運営に関します基本的な考えを申し上げますと、私が市長に就任してから、およそ半年が経過いたしました。昨年は、台風等の災害に見舞われ、早急に対応すべき課題については補正予算を組むことで対応してまいりましたが、完全復旧までは今年が大変重要な年と認識しており、早期復旧に向け、国・県と連携し、取り組んでまいります。

新年度予算案は、復興財源が重くのしかかり、更に厳しい予算編成となりますが、私が市政を担ってから初めてとなる予算編成は、歳出改革による経費の節減は継続する一方で、これからは具体性を欠いてきた歳入改革について議論を深めていくことが重要と考えております。

今年は何といたっても東京オリンピック・パラリンピックの年であり、日本にとっては節目の年でもあります。まさに富里市が変わる年でもあります。私はこの困難を契機に、歳入拡大に向けた歳入改革の強化を柱に健全

な財政運営による持続可能なまちづくりを目指し、職員が一丸となって富里市の発展のため前へ前へと進んでまいります。

予算編成に当たりましては、貴重な財源を計画的かつ効果的に活用するため、事業の優先度を徹底的に見直すなど、住民サービスに配慮しつつ、持続可能な財政規模としながら、令和2年度当初予算については、一般会計では、前年度当初比5.0パーセント増の149億4,400万円、特別会計全体では、前年度当初比0.9パーセント増の89億1,478万2,000円としたところでございます。

令和2年度は、新たな総合計画の策定を実施してまいります。併せて、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「人口ビジョン」についても改訂をいたします。地方創生施策の更なる充実・強化に取り組めるような長期ビジョンとなるよう策定に努め、本市の将来を見据えた新たなまちづくりの指針といたします。

それでは、令和2年度の市政の執行に当たりまして、総合計画の基本構想に掲げております、まちづくりの目標に沿って、主要施策の概要を申し上げます。

まず目標1、「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」についてでございます。

地域福祉ネットワークの充実につきましては、令和4年度を初年度とする「第3次富里市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定に着手いたします。誰もが住み慣れた地域で、安心して自立した生活の実現を目指し、地域で支え合う仕組みづくりや福祉ネットワークの形成を図るなど、地域福祉推進体制の強化に取り組んでまいります。

児童福祉の充実につきましては、「第2期富里市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、安心して子どもを育てられる地域の実現に向けて取り組んでまいります。

幼保連携型認定こども園において、就学前の教育と保育を一体的に提供し、子どもたちの心豊かな成長と幼児教育の連続性を確保するとともに、幼児教育の無償化も実施されたことから、更なる待機児童の解消に努めてまいります。

子育て世代包括支援センターは、令和2年度中の開設を目指し、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行うことによ

り、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を構築いたします。

高齢者福祉の充実につきましては、令和3年度を初年度とする「富里市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」の策定作業を引き続き実施いたします。高齢者の生活を支える介護サービスの充実や介護予防の推進、医療・生活支援サービス等の充実を図り、高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる地域コミュニティの形成を目指してまいります。

また、介護・予防・医療・住まい・生活支援が日常生活の場で提供される地域包括ケアシステムの強化に向けた取組を進めるとともに、地域包括支援センターを中心に、高齢者やその御家族から様々な相談に応じ、いつまでも健やかに住み慣れた地域で暮らせるよう支援してまいります。

障がい者福祉の充実につきましては、「第2次富里市障がい者基本計画」に基づき、障がいのある人が地域社会の一員として自立した生活を営み、生きがいをもって暮らせるまちの実現を目指してまいります。

健康づくりの充実につきましては、「富里市健康プラン」に基づき、健康寿命の延伸に向けて、市民の皆様の健康づくりに取り組んでまいります。

健康づくりの拠点である「すこやかセンター」においては、包括連携協定を締結している順天堂大学の協力のもと、筋力アップのための健康づくり教室事業を引き続き実施し、健康づくりへの意識の高揚を図り、介護予防に繋げてまいります。

医療体制の充実につきましては、成田赤十字病院の医療機器整備について支援し、地域医療体制の充実に努めてまいります。

社会保障の充実につきましては、生活保護制度の適正な運用に努めるとともに、生活保護に至る前の方に対し、自立や就労等に向けた包括的で継続的な相談支援等を行う自立生活支援事業の円滑な運営を図ってまいります。

次に、目標2「教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさと愛を育むまち」についてでございます。

生涯学習・文化の振興につきましては、本市の重要な歴史資源であり、国登録有形文化財である旧岩崎家末廣別邸を、教育施設として、また、観

光資源として公開活用できるよう取り組んでまいります。

学校教育の充実につきましては、学力向上の取組として「とみの国検定」「きょうざん塾」の実施や、郷土愛を養い地域に根差した人材の育成を図る「ふるさと学習」を実施するとともに、市内小・中学校に外国語指導助手（ALT）と外国語指導補助員を配置し、英語教育及び国際理解教育の充実を図ってまいります。

ICT環境の整備につきましては、文部科学省の整備方針目標実現のため、順次大型モニターの設置を行ってまいります。

学校施設の整備につきましては、子どもたちが快適に学習に取り組める教育環境を確保するため、防火シャッター等の既存不適合となっている事項を改善するとともに、富里南小学校の空調機設備の更新を実施いたします。

平和への取組の推進につきましては、核の廃絶を求める非核宣言自治体として、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えるため、市内中学生の代表を、被爆地である長崎へ派遣する平和学習リーダー派遣事業を実施するとともに、原爆写真展や平和映画会などを実施いたします。

男女共同参画社会の推進につきましては、「富里市男女共同参画計画（第2次）改訂版」に基づき、様々な分野において女性が活躍できる環境づくりや男女共同参画のための意識啓発などに取り組み、性別等に関わりなく、個性と能力を十分に発揮することができる「一人一人が生きる男女共同参画社会づくり」を推進してまいります。

次に、目標3「みんなが活躍し、農・商・工がともに輝く活力あるまち」についてでございます。

農業の推進につきましては、まず今年の台風による被害の復旧を第一に注力し、基幹産業である農業の復興に全力で努めてまいります。

また、富里の特産品であり、大切な地域資源でもある「すいか」栽培の促進と生産者減少の抑制のため、すいかの里生産支援事業を引き続き実施するとともに、甘くておいしい「富里すいか」の積極的なPRに努めながら、生産、消費の両面から産地活性化を図ってまいります。

さらに、深刻化する有害鳥獣問題につきましては、昨年度発足した富里市鳥獣被害対策実施隊の積極的な活動を支援するなど、安全安心な農作

物生産に資するための対策を総合的に実施してまいります。

産業の振興につきましては、「富里市産業振興ビジョン」に掲げる各種施策を推進し、地域経済の発展と市民生活の向上を目指してまいります。

また、市内商工業者の持続的な発展を支援するため、融資制度を推進するとともに、商工会や金融機関との連携を密にし、商工業の促進と地域の活性化が図られるよう取り組んでまいります。

観光の振興につきましては、スイカオーナー制度や馬に関連する事業などを実施するほか、県内外の物産展への出展や観光パンフレットの配布、観光PR動画、フィルムコミッションなどにより富里の魅力を発信してまいります。

また、岩崎家ゆかりの地である高知県安芸市、岩手県雫石町、東京都台東区と広域連携を図り、文化、観光、産業分野などにおける交流を促進してまいります。

次に、目標4「人と自然が調和し、安全安心なまち」についてでございます。

環境保全の推進につきましては、富里市地球温暖化対策実行計画に基づき、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの削減に向けた取組を全庁的に推進するとともに、住宅用省エネルギー設備設置に対して補助を行い、省エネルギー設備の普及と環境への負荷低減を促進してまいります。

また、ごみの減量化や資源化につきましては、富里市一般廃棄物処理基本計画に基づき促進してまいります。

現行の環境基本計画については、令和3年度で終了することから、令和4年度以降における環境保全に関する諸施策の基本となる新たな計画策定に着手いたします。

災害に強いまちづくりの推進につきましては、大規模自然災害に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を総合的な取組として計画的に実施いたします。また、学術機関との連携により強靱な地域づくりを推進するため国土強靱化地域計画の策定を実施いたします。

災害時等に市民の皆様への情報伝達手段となります防災行政無線につきましては、適切な維持管理に努めるとともに、迅速な災害対応を図るため、移動系無線の整備を進めてまいります。

消防救急体制の充実につきましては、消防本部庁舎等の計画的な更新整備と維持管理に努め、市民の皆様の安全安心に向けた消防体制を構築してまいります。

また、「ちば消防共同指令センター」のシステム機器、車両運用端末装置の計画修繕などを行い安定稼働を図ってまいります。

消防の広域化については、国の指針でも示されていることから、県の主導により課題整理や広域化について積極的に取り組んでまいります。

防犯対策の充実につきましては、防犯カメラの設置や、区、自治会等が管理している防犯灯のLED化への補助を行い、官民が連携して安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

次に、目標5「市民のこころをむすび、可能性を未来につなぐまち」についてでございます。

市街地の整備と計画的土地利用の推進につきましては、現行の市街化区域内へ医療・福祉・商業等の生活サービスを誘導し、生活利便性の向上と地域経済の活性化を図るため、都市計画用途地域の見直しを行うとともに、市街化調整区域については、開発許可基準の見直しによる規制緩和を千葉県に対して強く要望しており、それらの実現を図ることで、新たな企業立地の受け皿づくりによる歳入改革を進め、より豊かな居住環境の実現による持続可能なまちづくりを目指してまいります。

また、東関東自動車道富里インターチェンジ周辺の七栄北新木戸地区につきましては、市施行の土地区画整理事業により、「成田国際空港都市」の一翼を担う市の表玄関として、良好な市街地の形成と都市計画道路等の都市基盤施設の整備改善を図ってまいります。

活力を呼び込む交流基盤の整備につきましては、市民生活の向上や市内経済活動の持続的発展を支えるため、都市計画道路3・4・20号成田七栄線、市道01-007号線をはじめとする幹線道路や生活道路の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、大雨等による冠水を解消するため、排水対策事業を実施してまいります。

暮らしを支えるライフラインの充実につきましては、安定した経営基盤のもと、将来に渡り安全で良質な水道水を供給できるよう、引き続き新水道ビジョン・経営戦略の策定に取り組んでまいります。また、老朽化した施設や管路について計画的な更新に努めてまいります。

次に、公共下水道につきましては、下水道事業の持続的で安定的な事業運営を行うため、昨年4月より特別会計から企業会計へ移行いたしました。令和2年度は下水道事業経営戦略の策定に取り組み、経営の効率化・健全化に努めてまいります。

最後に、目標6「市民と行政の気持ちの共有による自立したまち」についてでございます。

協働のまちづくりの推進につきましては、協働によるまちづくりを着実に進めるため、「環境づくり」「担い手づくり」などの基本的かつ総合的な施策として策定した「富里市協働のまちづくり推進計画」に基づき、各種事業に取り組んでいるところでございます。現行の計画が令和2年度までのため、令和3年度からの新たな推進計画の策定に着手してまいります。

市民活動支援補助金制度、協働のまちづくり講座、市民活動フェスタなどを引き続き実施するとともに、地域課題の解決に取り組む市民活動団体等の拠点である市民活動サポートセンター機能の充実を図ってまいります。

組織機構の充実につきましては、新たに私の直属として「経営戦略室」を設置いたします。専門セクションによる経営といった概念に基づき、各種事業に対し様々な角度からの提言を行うことで、効率的で効果的な行政運営に繋げてまいります。

広域の連携につきましては、「成田国際空港の更なる機能強化に関する確認書」に基づき、現在、国、県、空港周辺9市町、空港会社の四者と協議しながら、具体的な地域振興策等について検討を進めているところであり、引き続き、本市の発展に結びつくよう取り組んでまいります。

以上、市政に対する所信の一端と、主要施策の概要を申し上げましたが、最後に、令和2年度は富里市にとって重要な年であると思っております。今後とも、市民の皆様との協働によるまちづくりを進めるとともに、国・県・近隣自治体や成田国際空港、企業等ともより一層関係を強めることで、組織や地域の枠を超えた横断的な連携を築き「オール富里」の体制で市政発展に努めてまいりますので、議員の皆様並びに市民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます、施政方針といたします。